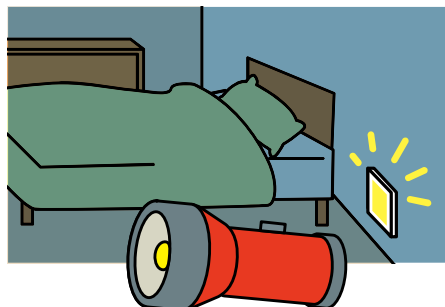


その他の災害から身を守ろう

停電対策

安全に避難するために備えましょう

夜間の場合、階段や床の段差が見えないなど、とても危険です。リビングや寝室、階段などに懐中電灯や足元灯を備えましょう。



災害情報や冷暖房を確保しましょう

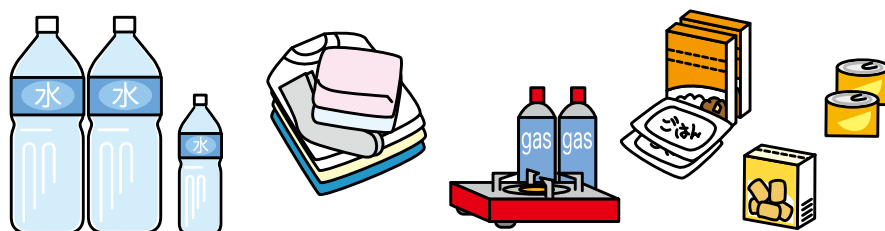
- スマートフォンやテレビを利用できなくなり、情報を得ることが困難になります。緊急告知ラジオや予備の電池を常備しましょう。▶P9～10「緊急告知ラジオの使い方」を参照
- 冷凍庫に保冷剤を入れておく、暖房器具を準備するなど、冷暖房を確保しましょう。



備蓄品を用意しましょう

食料品や日用品、防災用品などを日ごろから準備、確認しておきましょう。

▶P5～6「備蓄品・持ち出し品チェックリスト」を参照



停電情報はこちらで確認

●東北電力ネットワーク コールセンター

停電に関するお問い合わせ

0120-175-366 (平日・休日問わず24時間)
022-266-6810 ※フリーダイヤルが使えない場合(有料)

その他電柱や電線などの
電気設備に関するお問い合わせ

0120-175-377 (祝日を除く月曜日から金曜日 午前9時から午後5時まで)

●東北電力ネットワーク停電情報通知アプリ

停電や復旧の情報をプッシュ通知でお知らせします



アプリの
ダウンロードや
停電情報はこちら



竜巻対策

竜巻とは発達した積乱雲に伴い発生する激しい突風をもたらす渦巻です。

ろうと状や柱状の雲を伴っています

台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します

短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします

移動スピードが非常に速い場合があります



竜巻が間近に迫ったら

竜巻注意情報に注意

確認はこちら

竜巻が発生するおそれのある時は、竜巻注意情報が発表されます。柏崎市が発信する災害情報や防災行政無線等の内容を確認しましょう。



避難方法

屋内では

- 窓から離れる。
- 窓やカーテンを閉める。
- 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。
- 家の1階の窓の少ない部屋に移動する。

屋外では

- 頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする。
- 物置や車庫・プレハブの中には入らない。
- シャッターを閉める。
- 電柱や太い木には近づかない。

落雷対策

雷は雷雲の位置次第で、海面、平野、山間部など、ところを選ばずに落ちます。グラウンドやゴルフ場、堤防・砂浜、海上などの開けた場所や山頂などの高いところは人に落雷しやすくなり大変危険です。雷鳴が聞こえるなど雷雲が近づく様子があるときは、速やかに安全な場所へ避難してください。



安全な避難方法

- 鉄筋コンクリートの建物や自動車、列車内は比較的安全です。
- 木造建築の中では、全ての電気器具や天井・壁から1m以上離れれば更に安全です。

安全な場所に避難できない場合

- 高い木の近くは危険です。2m以上は離れてください。
- 姿勢を低くして、持ち物は体より高くしないようにします。
- 雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な場所へ移動します。